

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルプス** 出版社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンゴヤ 6F

TEL052-931-1009 FAX052-932-1312
<http://www.alpspublishing.co.jp/>

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

元氣のでてくる“ことばたち”

(243)

村上信夫



だろうか……。同じ人であって同じ人でない。彼女の中に、何かの化学反応が起きたのではないか。

不思議な初対面

こういう出会いもあるものだ。待ち合わせの喫茶店。その人はニコニコしながら現れた。そして、切り出した。「私たち、初対面でないんですよ」「……」ボクは、まったく覚えていなかった。

かつて、丹波市では「ありがとうコンクール」と称し、全国からありがたいことがあった。その審査委員長をボクが務め、彼女は、審査員の一人だった。その場で2回は会っていた(らしい)。

その人、八尾由江(やお ゆうこ)さんは、また屈託のない笑顔で言う。「その時は、気配を消していたんです」。そうだとしても、ボクの記憶から欠落しているのは、なぜだ。すべてのものごとにはタイミングがある。このタイミングで会うように出来ていたのだ(と思うようにしよう)。

初対面ではないのだが、初対面。初対面とは思えない初対面。多くの記憶装置が衰えを見せ始めているとはいえず、こうまで印象が違うのはどうして

喜びが喜び連れてくる

八尾由江さん

明るさの秘密

希望通り、小学校の教員になって、まもなくのこと。代用教員でやってきたのが、中学の一学年先輩。7年ぶりの再会だった。意気投合した2人は、すぐにも結婚したかったが、様々な大人の事情が絡み、結婚までには、さらに7年の歳月を要した。

そして、ようやく結婚にこぎつけたのが、1993年10月。妊娠もわかり、喜びの絶頂だった。

だが、その年の暮れ、奈落の底に突き落とされた。最愛の母が、猟銃の流れ弾に当たるという不慮の事故で亡くなる。この話になったとたん、八尾さんの表情がくもり、目から涙があふれ出た。



俳画／イネ・セイミ

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』(毎週日曜10:00～)、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>

機、根拠のない自信がある。いつも本気。いつも全力投球。人から見れば「変」だと思われることが嬉しい。

発達特性はすごい！

八尾さんは、いま特別支援教育コンサルタントという肩書きで、いわゆる発達障害といわれる子や、その親のケアをしている。

八尾さんは、これまでの経験をフル活用して、いわゆる「発達障害」と見なされている子どもたちのトレーナー役だ。特別と言っても特別扱いしない。支援と言っても、支援の手を差し伸べればいいというものではない。

発達障害ではなく、発達特性。その特性を活かしたら、ものすごい才能を発揮する。彼らにかかると、常識と違って、彼らから、教わることは多々ある。

八尾さんが勤めている「おひさまにこにこクリニック」の山口仁院長は、八尾さんの人柄をこう分析している。「出来ないことを出来るようにする人。マインドフルな人。1人1人に気づきをくれる人。その子のプラスを引き出せる人」。なるほど、なるほど。

そして、さらに……。 「明るく笑顔で、いつも元気だが、単にはしゃいでいるのではなく、知的な部分、冷静な部分を感じる人」。いやはや、そこまで見抜いているかという印象だ。

八尾さんの底抜けの笑顔の奥底に湛えた哀しみは、人への優しさになって還元されている。そのことを、院長は感じ取り、10年前の開院のとき、スカウトしたのだろう。

好きなことばは、「喜べば喜びことが喜んで、喜び連れて喜びにくる」。八尾さんには、喜びごとが集まる。それは、八尾さんがいつも喜んでいいるからだ。発達特性を持った子たちにも、なんの先入観も抱かず、喜び体質のまま接している。

八尾さんは、今年、新たなことを始める。「発達特性のある子たちが、社会デビューを果たすための就職予備校」のようなものを作るらしい。彼らの適性を見極め、彼らに向けた仕事を探し、就職までをケアする。丹波市氷上町常楽という場所に、4月オープンする。「常楽」とは、八尾さんのためにあるような地名だ。



好評
発売中

■イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。



俳画教室開講中

と き 常滑市 俳画教室月二回 午後一時三十分～三時三十分
会 費 一回 一、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問 合 せ ☎〇五六九(三三)〇四七〇

インディアンフルート教室開講いたします

誰でも簡単に音が出来る楽器です。あなたも今日からインディアンフルート教室。詳しくはマツイン楽器店 教室係までフリーダイヤル:0120-37-5576

講師 イネ・セイミ
(日本インディアンフルートサークル協会ディレクター)
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。1レッスン・30分4,000円 会場・平田市柳ヶ丘
申込み 0569-89-7127
お問合せ ine.seimi.jp@gmail.com

受講生募集!!

私の出会った作品 (31)

杉本武之

【三十一】『正法眼蔵随聞記』
◎道元と良寛さん

江戸後期の禅僧・良寛さんは、和歌ほど多くはありませんが、漢詩もたくさん作りました。数多くの漢詩の中で、最もドラマチックな構成と内容を持った作品は『永平録を読む』です。

良寛さんの74年の生涯には、劇的な瞬間が何度ありました。

18歳の時、父親の横暴な態度に反抗して家を飛び出した瞬間。22歳の時、国仙和尚に会って弟子入りが許された瞬間。備中玉島の円通寺で厳しい修行をした後、諸国を行脚するが、40歳の時、生まれ故郷の越後に帰ろうと決意した瞬間。最晩年に、40歳も年下の若くて美しい貞心尼と出会い、心温まる交際が始まった瞬間。道元禅師の著した『正法眼蔵』と出会った瞬間も、こうした劇的な瞬間に劣らない激烈なものでした。天明8年(1788)8月15日の夜のことでした。31歳の良寛さんは、円通寺で師の国仙和尚から『正法眼蔵』の教えを受け始めて10年後のことでした。良寛さんは猛烈なシヨックを受けます。今までの自分の考え方、生き方は間違っていた。これではない。やり直そう。国仙和尚に頼んで、寺にあった『正法眼蔵』の写本を読むのを許可してもらいます。熱心に読み終えると、良寛さんは、道元が教示している生き方を実践するために円通寺を出て、行脚の旅に出ました。



道元像

どを劇的に強い調子で詠んだ詩が『永平録を読む』です。私が七・七調で訳したものを載せます。

春の夜も更け／あたりは暗く／雪まじりの雨／

竹林に降る／寂しさ募り／
／気を鎮めるために／永平録を／読むことにした
／香を焚き付け／灯火を点けて／珠玉の文を／開いて読んだ／ああ、思い出す／玉島にいた時／先師

／有縁であった／どこに行っても／永平に出会った／何年間も／参学したが／時には心に／不満が生じた／これじゃならぬと／道を深めた／その後再読／はつきり分かった

が示した／正法眼蔵／その頃すでに／機が熟しており／貴い教えを／実践してみた／このまじや駄目と／初めて目が覚め／先師を辞して／諸国を歩いた／ああ、永平とは

／諸法の乱立／いかんともしがたく／玉と石との／区別も付かぬ／長らくこの書が／埋もれていたのも／人に見る目が／無かったためだ／永平録は／万人のものだ／いまさら言っても／仕方の無いこと／あれこれ思うと／涙が止まらず／貴い書物を／濡らしてしまった／翌日、隣の／老人が問うた／「何故この本は／濡れているのか」／答えた

いが／どうしても言えぬ／心が痛むが／答えられない／しばらく考え／名案を得た／「昨夜の雨で／濡れたのだよ」

ここで取り上げられている「永平録」というのは、書名ではなくて、単に永平(道元禅師)の語録という意味だと思います。そして、それは道元の代表作『正法眼蔵』のことで、

「菩提心を起こす」といふは、おのれ未だわたらざるに、一切衆生をわたさんと、発願し、いとむなり(『正法眼蔵』) 道元と出会うことによって、自己中心だった良寛さんに、他者の幸福という視点ができたので

す。宮沢賢治の有名な言葉が思い起こされます。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

これは、道元の侍者・懷昇(えいじょう)が編んだ6巻の書物です。道元の法話を、懷昇が聞いた通りに平易な文章で筆記したもので、理解しやすく、道元自身の姿を生きた生きと浮き彫りにしています。1235年から1238年までの3年間に記録されたものだと言われています。今から780年ほど前のことです。

道元の主著『正法眼蔵』を救おうとする心がなくてはいけぬ、と厳しく教えていたのです。自分より他人を先に済度すべきだと説いていたのです。「菩提心を起こす」といふは、おのれ未だわたらざるに、一切衆生をわたさんと、発願し、いとむなり(『正法眼蔵』) 道元と出会うことによって、自己中心だった良寛さんに、他者の幸福という視点ができたので

す。宮沢賢治の有名な言葉が思い起こされます。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

これは、道元の侍者・懷昇(えいじょう)が編んだ6巻の書物です。道元の法話を、懷昇が聞いた通りに平易な文章で筆記したもので、理解しやすく、道元自身の姿を生きた生きと浮き彫りにしています。1235年から1238年までの3年間に記録されたものだと言われています。今から780年ほど前のことです。

道元の主著『正法眼蔵』を救おうとする心がなくてはいけぬ、と厳しく教えていたのです。自分より他人を先に済度すべきだと説いていたのです。「菩提心を起こす」といふは、おのれ未だわたらざるに、一切衆生をわたさんと、発願し、いとむなり(『正法眼蔵』) 道元と出会うことによって、自己中心だった良寛さんに、他者の幸福という視点ができたので

す。宮沢賢治の有名な言葉が思い起こされます。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」

これは、道元の侍者・懷昇(えいじょう)が編んだ6巻の書物です。道元の法話を、懷昇が聞いた通りに平易な文章で筆記したもので、理解しやすく、道元自身の姿を生きた生きと浮き彫りにしています。1235年から1238年までの3年間に記録されたものだと言われています。今から780年ほど前のことです。

この指とまれ (274) 氏原朝信

昭和53年度 常滑小学校五年三組「なかま」

「常滑おやこ劇場」での「とつておきの思い出話(2)」

常滑小学校との関わり
おやこ劇場を知ってもらうためには、まずは広報活動です。広報活動は口コミが一番と張り切って自主活動や例会のチケットを持ってお母さんたちが市内を奔走して会員集めをしました。さあ、そのチケットを蛭原紙に鉄筆(てつぴつ)で切るのは私の役目でした。(272号の「11ぴきのねこ」のチケット参照)。切るのはいいけど、印刷機がありません。私は学校の印刷室に眠っている謄写版(ガリ版)とインクを学校

からいただいて印刷をしたのです。もちろん、印刷は屋の部の仕事でした。蛭原紙は、京都で丁稚をしていた印刷屋さんからの「はなむけ」でした。3種類の蛭原紙2箱ずついただきました。学級通信に大いに役立ちましたが、チケット作りに役立つとは思っていませんでした。チケットだけでなく会費納入袋の印刷も謄写版は重宝しました。このころの児童数は約二千人(45学級)だったので印刷機はフル稼働でした。電動の印刷機が購入される

と手動の印刷機より、早くきれいに印刷ができる新しい印刷機が使われるようになります。そうすると手動の印刷機は使われなくなり、廃棄処分されたその印刷機をいただいたのです。自主活動の餅つき、風あげ、紙染、講演、小公演などで学校の施設(校庭、運動場、体育館、視聴覚室)を借りるために、私が前もって空いている日を押さえておやこ劇場の方から借用届けを出していました。

市長との懇談
体育館で例会の舞台芸術を見るために、二〇〇脚の椅子をブロックごとに当番制で並べていました。早く文化会館ができるのを楽しみにしていたら、市の文

化会館建設計画を議会が否決したのです。文化協会が早速に建設請願署名に取り組んだのですが、おやこ劇場では慎重な意見が出ずは、市長との懇談をしようということになりました。市長は、常滑高校定時制の学生時代に演劇活動をしていたのでおやこ劇場の取り組みを理解していること、劇団が宿泊する部屋も併設したいという市長の文化会館への思い入れなどがわかり、私たちは楽に舞台芸術を見られるように早く建設をしてもらうための請願署名をしました。一、八〇〇名ほどの署名が集まり、市議会側が渋々と同意し、昭和38年11月1日に竣工を迎えたのです。

と手動の印刷機より、早くきれいに印刷ができる新しい印刷機が使われるようになります。そうすると手動の印刷機は使われなくなり、廃棄処分されたその印刷機をいただいたのです。自主活動の餅つき、風あげ、紙染、講演、小公演などで学校の施設(校庭、運動場、体育館、視聴覚室)を借りるために、私が前もって空いている日を押さえておやこ劇場の方から借用届けを出していました。

市長との懇談
体育館で例会の舞台芸術を見るために、二〇〇脚の椅子をブロックごとに当番制で並べていました。早く文化会館ができるのを楽しみにしていたら、市の文

と手動の印刷機より、早くきれいに印刷ができる新しい印刷機が使われるようになります。そうすると手動の印刷機は使われなくなり、廃棄処分されたその印刷機をいただいたのです。自主活動の餅つき、風あげ、紙染、講演、小公演などで学校の施設(校庭、運動場、体育館、視聴覚室)を借りるために、私が前もって空いている日を押さえておやこ劇場の方から借用届けを出していました。

市長との懇談
体育館で例会の舞台芸術を見るために、二〇〇脚の椅子をブロックごとに当番制で並べていました。早く文化会館ができるのを楽しみにしていたら、市の文

料理研究室

長澤晶子のSPEED★COOKING!

ゆきみ がゆ
雪見菊

心も身体もほっこり温まるお粥です。
受験生の夜食にもぴったりですヨ!

材料

【4人分】

・ごはん……………茶わん4杯……………B

・力二缶……………1缶……………C

・水……………500cc……………A

・鶏がらスープのもと…小さじ2……………D

・塩……………適宜……………D

・コショウ……………少々……………E

・コ水……………大さじ3……………E

・片栗粉……………小さじ2……………G

・卵黄……………2個……………F

・卵白……………2個……………F

・みづ……………適宜(刻んでおく)……………H

作り方

①Aを鍋に入れ中火で熱し⑧を加えて弱火。⑥を加え⑩で味を整える。

②①を再び煮たてて⑥をよく溶きながら①へ加える。とろみがついたら⑥をかきまぜながら加え火を止める。

③器によそって⑥をたらしてふたをする。⑨をちらして完成。

常滑市民文化会館

ホール

品展・十七日(木)〜二十五日(金) 午前九時〜午後七時 (最終日同三時まで) 第一展示室 問合せ 常滑市立小鈴谷小学校 ☎37-0021(磯村)

▼平成三十一年度「かがやき展」・十七日(木)〜二十五日(金) 午前九時〜午後七時 (最終日同三時まで) 第二展示室 問合せ 常滑市立常滑中学校 ☎35-2375(富田)

◎常滑市立図書館

▼常滑書道会新春書展(書・篆刻・刻字・五日(土)〜十四日(祝))

▼グルーブ向日葵油絵展(油絵)・十六日(金)〜二十五日(金)

▼海洲鬼会展(書・二十六日(土)〜二月五日(火))

◎とこなめ陶の森資料館

▼企画展 知多半島瓦歴譜・五日(土)〜三月十日(日)

◎とこなめ陶の森研究所

常滑市民文化会館

展示室あなただのギャラリー

▼常滑市小中学校書写作品展

常滑市体育館

▼全知多中学生インドアソフトテニス大会 五日(土)・六日(日)

▼常滑市児童館親善ドッジボール大会 十二日(土)・十三日(日)

▼全国高等学校選抜卓球大会 シングルス愛知県予選会 十四日(月・祝)

▼愛知県高校新人体育大会 バスケケットボール競技 知多支部予選 十九日(土)・二十日(日)

▼常滑市民バドミントン大会 二十日(日)

▼愛知県高校新人体育大会 バスケケットボール競技 県大会 二十六日(土)

少人数での家族葬専用ホール 2018年11月オープン

大阪屋リビング 常滑

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL0569-35-4949

●JA あいち知多農産物振興会との提携店

●お・ひ・知多協力店

●自治労常滑市職員労働組合協力店

大阪屋葬祭 | 検索

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380

TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

— 自分ドラマつくろう — (93) 岡田 清治

姪の就職2

三人は疲れも知らないように飲み、話し続ける。話の中心は真三がマイコンを導入したところの苦労話だが、時々、脱線しながら話題はあちこちに飛ぶ。

「最近、スポーツ界やテレビのバラエティを見ていて日本人のアイデンティティ（帰属意識）が変わってきたというか、どうなのかと思うことがある。例えばテニスの大坂なおみ選手がグラนด์スラムで日本人で初めて優勝と報じられた。『すごい』と思う反面、『でも純粋の日本人じゃない』と喜びが半減するところ、彼女の可愛らしい顔とたまたましい日本語が不安を掻き消してくれる。彼女は米国と日本の二重国籍だし、母親は日本人、父親はハイチ系アメリカ人のハーフで、大阪生まれのアメリカ育ち、話す言葉は英語。こうしたハーフの活躍はとくにスポーツ界で目立つすばらしいと思うが、十年ほど前にはそう多くは見られなかった」

「そうだね」

「グローバル時代に何を言うかと思われるかもしれない。アメリカは合衆国で人種のルツボと言われる。ヨーロッパだって人種の混合国であり、もっと言えば人類の祖先はゲノム解析ではアフリカと言われているので、ハーフに驚くことはいらないはずだ。トランプ、プーチン、習近平それぞれの顔相から米国人、ロシア人、中国人だとイメージできる。これから日本の人口減が急速に高まり、つれて日本への移住人口は増え、ますます日本人の純粋性が薄れるだろう。大都会や観光地で見られるインバウンドの状況が将来の日本の姿に思えてくる。」

ところが一方で民族紛争が起きている。中東、アフリカをはじめミャンマー、中国、南アメリカなど世界各地で見られ、ヘイトスピーチなどにも表れる。同じ祖先であるのに、土地、血縁、言語、宗教等の違いから憎しみ合う。米国は黒人差別する時代が続いたので、黒人のオバマが大統領に就いたことに世界は驚いた。ナチスはユダヤ人を排斥することで団結を図った。ハーフが増えれば紛争がなくなり平和になるのだろうか」

「そう容易な話ではないと思う。移民、難民も増え、それに宗教や民族が絡んでくると、世界は益々、複雑化しているしね」

「真三さんの姪さんが行っているインドではフェイクニュース（偽ニュース）で少数派のイスラム教徒が襲撃され、殺人事件も起きているそうです」

「確かに、パソコン、インターネット、SNSなど便利な反面、有害な面も看過できないですね」

「そう、スマホはとくにそう思いますね」

真三はSNSについて最近読んだ雑誌のコラムを紹介した。インターネットによって人とひとつをつなぐスマホ・パソコン用のサービス（Social Networking Service）ソーシャル・ネットワーク（ソング・サービス）の総称がSNSだ。これは大変、便利でも犯罪の温床にもなっている。この技術革新を止めることはできないだろう。一昔前と比較しても、その便利さに驚く。アプリを使えば便利さ、楽しさが増す一方、怖さが何十倍となるものの手放せない。フェイクニュースの拡散も恐ろしい。

いまの若者を中心にSNSは全世界に広がりつつある。そのコミュニケーション能力は昔人間からすると、脅威でもある。略字や記号が新たな表現として取り入れられている。たとえば親しい仲間の間では理解することを「り」で済ましていると聞いて今後こうした暗号めいた日本語が流行り出したらどうなるのかと不安になる。世界一難しいと言われる漢字は、一瞬にしてその意味を伝える画像

的機能を備えており、日本人の思考能力を高めているといわれる。しかしSNSでの表現は人間を確実に退化に方向かわせていると思わざるを得ない。さらにAI（人工知能）が同時並行で猛烈な勢いで広がっている。人は便利さを享受できるが、同時に怠慢な人間をつくり出す可能性を秘めている。SNSにしてもAIにも倫理や法律ルールを教え込まないで野放図にしていると、その行きつく先はとんでもことになるのではないかな。



【写真】自然の変化は美しい(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。

FAX：0569-34-7971

メール：takamis@akai-shinbun.net



プロフィール

著者：岡田清治おかせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト（編集プロダクションNEXT108代表）著書に『高野山開創二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』あなたは社員の全能を引き出せますか！『リヨンで見た虹』など多数

人はSNSやAIにより多くの自由な時間を得て好きなことができる。とみる向きもあるが、退化した人間に創造する力や喜びが得られるとは思われないのだが……。ゆとりを持って心のケアにも役立つことを期待したい。

「最近算えたのだが、ママ、スマホは音声で検索キーワードを話せば、わざわざキーボードで入力しなくて済むこと知っている？」

「私はガラケーの携帯だから知らないわ」

「報告書や原稿も吹き込むと自動的に文章を作成してくれる」

「文章は正確ですか」

「まだ100%ではないが、あとでその部分だけを修正すれば十分、使えるね」

「能率が高まりますね」

「年寄りにはスマホのキーボードは小さくて扱いにくい」

「パソコンやスマホなどの進化は目を見張りますが、真三さんは早くからマイコンに取り組み、いまだう思っているのですか」

真三は日ごろ思っていることを話した。

「昔前、世の親はマンガがばかり読んでる子どもを叱り、嘆いた。テレビ時代になって文字離れが進み、本を読まない世代が増えている。電車の中ではスマホだがこの前まで学生はもとより、美人のOLまでマンガを読んでいる姿を見ると、ちよつと幻滅を感じないでもなかった。でも真三はマンガを評価する一人である。」

マンガはビジュアルイズド（視覚化）商品である。真三はマンガでひとつの試みをしていった。真三は学校で習った歴史の授業が年代や年号の暗記が多く、苦手であった。試験前に詰め込むだけだから内容を理解して楽しむところまでいかなかった。真三が浪人時代、歴史に強い友人がいたので「なぜ、歴史に詳しいのですかと聞くと、なに、マンガを読んでいるだけだよ」と笑って答えた。このことを二十数年後にも覚えていたので、全十五巻のマンガ歴史本を小学校四年になった息子に与えた。

息子は暇を見つけては擦り切れるほどマンガ歴史本を読みふけた。そのうち『三国志』など歴史小説を文庫本で読み続け、社会人になっても歴史に興味を持った。この体験からマンガを評価している。真三は「マンガは正確でない」という固定観念があつて誤解していた。だから以前は歴史をマンガで勉強するという発想が出てこなかった。息子にはとにかく月に二冊のペースで買い与えた。

小学校の低学年では歴史が出てこないのに、マンガがいつても面白くないのではないかなと思ひながら観察していた。ところが真三の危惧とは逆に非常に興味を持ち、次の本を催促された。とくに戦国武将に関心を示し、高学年になるにつれマンガでは物足りなくなってくる。

ジュニア向けの歴史の単行本を片端から読み始めた。小学生向きの歴史本が意外にも少ないことに気付いた。このため中学生用の歴史シリーズを与えたが、結構、興味をもつて読破していた。そして暇さえあれば、最初に与えたマンガを繰り返し読んでいた。テレビの歴史ドラマにも関心を示し、NHKの大河ドラマ『徳川家康』、鈴木健二の「歴史への招待」もVTRに撮つて何回も見ると。徳川家康では疑問を挟む場面も指摘するようになる。子どもの吸収力は驚異的に覚えてくる。登場人物の関係を頭の中で整理して覚え込んでいる。歴史の内容も戦国時代中心から戦争の現代史へと広がってくる。息子が学校の図書館で借りた本のカードを見てみた。

『世紀の人・チャール』『スターリングラードの死闘』『壮烈・山本五十六』『物語・俳句・俳人』『ナポレオン』『日本の防衛』『武田信

玄と上杉謙信』『真田幸村』『織田信長』『坂本龍馬』『戦艦物語』：等。真三はちよつと呷然とした。偏重しすぎではないだろうか。歴史なんて立場でくるくる変わる。あまり偏つた見方が定着することを恐れたが、一方でマンガを高く評価した。ただ、歴史に強くなつたが、数学をはじめ理系の勉強が苦手に陥り、さらに語学英語にもほとんど関心を示さなくなった。真三自身は中学生のころから他の兄弟に見習って数学の家庭教師の指導をうけ、数学だけは強くなったが他の教科はまったくダメだった。このあたりのことは本当に難しいと今更ながら思うのだった。

「人間には、そういうところ感じますね」

「ママでもそうか」

「私なんかどれもダメですが、美術とか書に興味をもって、そちらの方に傾いた人間になってしまいました」

「だから教育というのは難しいのでしょうか」

「こうしたバランスのいい子に育つという方程式はないのでしょうか」

「予備校でもある種のノウハウは教えていますが、それが人間形成にどれだけ役立っているのか、疑問です」

「政治家なんか見ていると、立派な学歴を誇つていても倫理的にすごく貧弱な人がいるでしょう」

「そうだね。まったくお粗末な人間が政治をやるなんて、どうかしているし、選挙民もその民力が疑われる」

「ところで、マイコンについてマンガで理解しようと思えなかったのですか」

前島が聞いてきた。

「そうです。マイコンについても同じように考えました」

真三は話しはじめた。

「マイコンのマンガ本を見つけた。『こんにちはマイコン』（小学館）すがやみつる著」がそれである。マイコンのマンガ本があつても不思議ではない。ほかに二三冊が専門書の中に並んでいる。難しいマイコンがマンガ本でどのように表現しているのか楽しみである。定価は四八〇円である。マイコンの本を買った人なら気が付かれたと思うが、高価な本が多い。このマンガ本は安い。真三はすぐに目を通した。まずこの本で用いる機種をPC6001標準価格8万9,800円）とはつきり明記している点を評価した。マイコンで一般論はほとんど役に立たないことを痛感しているからだ。基礎的なことが頭に溶け込んでくる感じである。マイコンを十分に咀嚼しないとこれだけのことは書けないだろうと想像した。素人がマイコンをする場合、マンガから入るのも一つの有力な手段だと思ふ。

真三はこのマイコンのマンガ本を息子に与えた。そうすると実に熱心に見る。寢床に入つてもマイコンのマンガ本を手に入れている。その中に書いてあるプログラムをマイコンのノートにつくって写しているのである。

「この本のゲームプログラムはPC-8001で打つてもできないよ」

「うーん、残念だけど、そのプログラムはこの機種には通じないんだ。そのプログラムを使えるのはPC6001の機種だけなんだ」

「PC6001はいくらするの？」

「PC-8001より安い、狭い家に2台も置けないし不経済だよ。PC-8001で打てるゲーム付の本を買って上げるから、それまで待つていなさい」



『おたから、おたから〜っ!』

藤間 勘萃



正月になりますてえと江戸の町のあちこちから「おたから、おたから〜っ!」てえ宝船絵図を売り歩く声が聞こえてまいります。

お宝や米俵を積み込んだ舟にゃ弁天さま、恵比寿さま、大黒さま、布袋さま…七福神が乗り合わせておりましてな、「なかきよの とおのねふりの みなめさめ なみのりふねの お

とのよきかな」という初めから読んでも終わりから読んでも「長き夜の 遠の眠りの皆目覚め 波乗り舟の音の良きかな」となる和歌(回文)が添えられておるのでございます。

元日の夜に、これを枕の下に敷いて寝ると縁起の良い初夢が見られるそうなんですがね、どうやら勘萃の宝船にゃあ見慣れない七福神が乗り合わせておるようで…。

待つつつつつつてましたあ!お父つつあん、おっ母さん、看板娘…親子三人だけで、歌あり踊りあり器楽ありのお芝居でもって北海道から沖縄までを巡る野外劇団「楽市楽座」が、新作『赤いクツ』を引っ提げて今年も名古屋は大須「赤門明王殿大光院」にやって来た。

楽市楽座さま



会場となったのは奇しくも作・編曲家としての勘萃を産んでくれた名古屋音楽大学の『めいおんホール』。指揮法を授けて下さった横井園生(あたしにとっちゃあ偉人の域、敢えて敬称は付けません)への恩返しのできた日にもなりました。

『弥陀観音大勢至』と戒名?じゃなかった改名されたこの曲は、四月九日(月)に、ご住職の『聞法会』後の祝賀会にて合唱団『CHOIR DEEP SOUL』の皆さまがお披露目され、九月六日(木)には、『第五十八回仏教音楽研修会コンサート』にて初演されたのでございます。

「作詞が親鸞聖人で、作曲が藤間勘萃…ううっ、師匠っ、このコラボは凄すぎですっ!」てな言葉を方々から頂戴しましたけどねえ、たぶん親鸞聖人はご存じないと思いますよ。



九ヶ月に渡っていくつもの夜を親鸞聖人と明かして、ようやくと調った合唱曲『親鸞和讃』を、六百年も前からそこに佇む名刹へお届けに上がったのは、聖バレンティンデーのある日でございました。

親鸞聖人さま



終演後にみんなしてパシャリ。座長の現さんとあたしあ同年でもって還暦。



ややあって、ひいさまも池の上でゆっくりと回る“お盆舞台”へ「ひょいっ」とばかりに乗っかっての京がたり。



木製の枠を組み、水を張って池を造り、木製の大きなお盆をそこへ浮かべる…楽市楽座の親子三人が汗だくになってこしらえた回り舞台に、それも、芝居の真っ只中に割って入るのは、凄く覚悟が要る。



時は江戸時代、お乞いさんの母娘と宇宙人が居合わせるキテレツなる絵巻。



昼間っから行きつけの「吉竹」で京彩旬肴にビールと熱燗を酌み干したのを、その足で立ち寄る「緋毬」で餅の二つ入ったぜんざいで締める。親父さまは、今日も今日とて、そんなふうにして、あたしの前に立ちはだかった。



朝っから「お前の誕生祝いを預かつとるから取り来な」という親父さまの電話に呼び出された。アトリエに持ち帰って包みを解いたら、綺麗な縹色をした甚平が出てきたのでございます。親父さまの六十年以上前の恋人から、毎年あたしにも誕生祝いが届く、昭和の伊達男にや敵いませんや。

親父さま



芝居を終え、ほっこりキセルを燗らす座長に寄り添う“お盆舞台”。



【ご案内】Youtubeにて、彼/彼女たちと勘萃が織りなす吹けや踊れやをご覧いただけます。

何しろいくつも学校から寄り合った野武士集団なので、ぶっつけ本番で舞台を務めますし、其々の学校の都合でもって多くの仲間たちを欠いて舞台へ進み出ることもあるんですが、「ま、そんなこと言っちゃって仕様がなしでしょ?」とばかりに、健気に吹けや踊れやする彼/彼女たちは、いつだって芸事の神様に可愛がられているように見えるのでございますよ、ブラボー。

「演奏とは、演じて奏でる…と書きます。」これは、着物にお扇子といった風変わりな格好で指揮に赴く先々での開口一番。

音楽する方々は、ときに声や楽器を操るのに集中するあまり、舞踊家のあたしにゃあ実に不細工に、無愛想に舞台を務めているように見えるのでございまして…。

そこへいくとえと中高生ブラス楽団『アンサンブルフレンズ』が繰り広げる吹けや踊れやの舞台は超イカしております。夏休みになると何処からともなく「すうっ」と立ち現れて、秋のハロウィーンが終わると何処へともなく「すうっ」と居なくなってしまう…てえところなんでも、そこはかとなく美しくうございましょう?

『アンサンブルフレンズ』サマー

8月4日(土)、アスナル金山にて。
8月5日(日)、名古屋市民会館大ホールにて。
8月18日(土)、19日(日)、名古屋「広小路夏まつり」にて。

愛蔵版 天皇陛下御即位三十年・御成婚六十年 記念写真集 (仮題)



仕様
A4変型判 上製
ハードカバー
226ページ (予定)

2019年
1月15日まで
予約受付

平成31年は天皇陛下が即位されて30年、両陛下が結婚されて60年の記念すべき年です。来る2月24日には政府主催の記念式典が挙行されます。中日新聞社はこの式典に合わせて、宮内庁監修による記念写真集を刊行します。即位から今日までの30年間の集大成の写真集として、両陛下の厳選した写真、貴重な写真を多数収載し、国民とともに歩む両陛下のお姿を余すところなく紹介します。

監修・宮内庁 発行・中日新聞社
3月下旬発売予定 定価 4860円 (税込)

ご予約は、あかい新聞店へ。TEL 72-0356 (武豊) 35-2861 (常滑)

ぼくもわたしも新聞デビュー

中日 **こどもウェブデー**

ぼくのわたしの新聞で
「考える力」、「集中力」を身につける!

親子で読んで楽しんで学べます!

バラエティー スタディー 歴史マンガ

ずかん チャレンジ ニュース ファミリー

毎週 土曜日のお楽しみ! 月額 463円 (税込)

「中日春秋」で学力アップ!?
人間力もアップ!?

「中日春秋」の書き写しは
学力アップ・人間力アップの第一歩です。
総合的学力 ……すべての教材の学力アップの土台に!
応用的学力 ……問題を正確に把握する力・解答の解説を適切に読み込む力
基礎的学力 ……読解力・語彙力・集中力・注意力アップ
日常的習慣 ……「中日春秋」書き写し
よむだけでも〇!書き写せば〇!

人間力
アップ!!

中日春秋書き写し
専用ノート
1冊(1ヶ月分)
108円(税込)

店舗移転の為 店内売りつくしセール!!

永い間ありがとうございました

2月
末日



まるく

◎大駐車場完備

〒479-0832 愛知県常滑市原松町6丁目66番地の1
TEL(0569)35-2209 FAX(0569)34-5745
●年中無休 ●営業時間 AM9:00~PM5:00

ろうけつ技法を中心に、染色の基礎を指導します

草木染

藍染

化学染

アトナ

西尾市中畑町西側15 TEL:0563-59-6624

Quality Foods

イシハラフードは お客様と共に
「安心」「安全」「おいしさ」を食品を通して考えています。



確かな味、信頼の品質、地元商品の育成。

わたしたちには「こだわりの商品」がたくさんあります。(株)イシハラフード・常滑店 ☎(0569)35-5355 正月は1月1・2日営業、3・4日休み

恒例の白老

酒蔵弁当好評受付中

古式伝承

酒蔵開放のご案内

日時/2月23日(土)午前9時30分~午後3時

2月24日(日)午前10時~午後3時

入場料500円(お土産付き) 名鉄常滑駅より無料送迎シャトルバスあり <http://www.hakurou.com> 詳細は

詳細は

特報 ゆっくりお買い物がしたい方のために
先取販売デー 22日(金)午後1時~午後3時

*22日は入場無料ですが、
お土産、展示、見学、糟口搾りたての試飲、
送迎バスなどはありません。

澤田酒造株式会社 常滑市古場町4丁目10番地 TEL0569-35-4003

手造り陶雛大展示中



二階ギャラリーは陶雛でいっぱい。
ぜひ、ご覧ください。
3日から営業します。

花器専科

やまもと

〒479-0003
常滑市金山字上砂原105番地
とこなめ焼御団地セラモール
TEL (0569)43-7181
FAX (0569)43-7191
営業時間 AM10:00~PM5:00

楽しい旅のパートナー

(株)名鉄知多バス旅行

会員募集 かもめツアー

かもめツアー
センター

☎0569-24-3337

☎0569-21-5230

半田市広小路町150番地-6



(有)知多エッグ

**知多の新鮮たまご
発酵ケイフン**

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

2019



蔵開き

■入場無料

■開場 9:30~15:00

名鉄 常滑駅より無料の
送迎シャトルバスがあります。(受付開始9:00)

■盛田(株)小鈴谷工場にて開催

2019年
2/10
日曜日

●マイ・ラベルづくり
●新商品 試飲販売
●酒粕・奈良漬け つめ放題
お問い合わせ

0569-37-0511
(9:00-16:30)

盛田株式会社 小鈴谷工場 愛知県常滑市小鈴谷字亀井戸21番地の1

1886年創業。地域とともに130年。

半田中央印刷のトータルソリューション 印刷の枠を越え、総合的な「価値」をご提供します。



クリエイティブ



デジタル



空間



印刷



マーケティング



経営コンサル

P.T.C.GROUP

〒475-0032
愛知県半田市潮干町1番地の21



TEL.0569-29-2525(代)
FAX.0569-29-4500

半田中央印刷株式会社

知多四国めぐりの
お供にどうぞ

前経帳をはじめ、弘法参りの関
連書籍を販売しています。お電話
にてお問い合わせください。

知多の動植物雑誌(三六四)

原 穰

もう20年も近く前になるが、今にして思えば、よくぞ飛行機で行ったものだと思ふことしきりである。

かつて、吉野山湿地を共に過ごした日々はフットモった北海道からの手紙。内容は湿地に関するもの。そう云えば、最近ユメコ



北海道で初めて見たツル

人、三人ばかりに、私が初夏にかぶるヒサシの長い帽子をかぶり、お話を、している画像が出てくる。

内容はわからないが、とに角熱心に、おしゃべりしていた。

ユメコロンの画面には、ヒメミミカキグサやシラタマホシクサ、ハツチヨウ

トンボなどが出ている。かつて、北海道へ出掛けた時、写真家のOさんは吉野山湿地でやっていた湿地の植物を熱心に撮っていた。私は湿地の植物を無視して、動物ばかり撮っていたものである。

特に、ツルの仲間が、この辺にいるのではと、そればかりねらっていた写真家。

「何ツルかいナ」、白い体に黒色の風切羽は、コウノトリであるが、赤い足は見えないし、頭部の頂きは白く、口ばしは黒い。コウノトリなら、首全体が白いのに、これは前頭が黒くなっている。

よく似ているのはタンチョウで、日本では最大級の鳥であるとか。タンチョウは頭部が露出し、赤くなっているのに、これは赤くない。図鑑にのつてないので、何かわからない。とに角写真を撮って、大事にしまっておいた。

かくして出てきたものがこの写真ノ大切にしたいノ

2018年!!僕

2018年も残すところ3週間となった。僕の2018年は一生懸命いろいろなことに挑戦した年になったよ。そろばんに水泳にサッカー。そろばんはおじいちゃんに教えたあげたよ。えー?すごい!!と褒められるけれどこのくらいは計算はみんなできるよ。おばあちゃんに「さすが私の孫!!」と言われた。おばあちゃんのお孫だから出来るんだよ!!」と、僕は「おばあちゃんに言ったよ。おばあちゃんにニコニコしたよ。おじいちゃんに「90+91+28+16+17+...」と、永遠に続けたら、90+91でギアアップしたよ。おじいちゃんより、僕の方がそろばんは出来そうだなあ。プラスの計算だけでなく、マイナスやかけ算も覚えろ、おじいちゃんをたくさん困らせろやう。これが僕の2019年の目標さ。ちよっと意地悪かな?

幼稚園の学習発表会が今週末にあるんだ。今年が最後なんだ。来年、僕は小学生なんだよ。大きくなったでしょう。だから、今年はずっと張り切っている。歌の発表があつて、楽器演奏、そして少しスピーチをするのになつていいる。もちろん、パパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなに見てもらえるのになつていいる。みんなが来に来るのには嬉しいけれど、緊張するなあ。間違えずスピーチができるのか、僕は不安だらけだよ。おじいちゃんとおばあちゃん、僕のスピーチをちゃんと聞いてくれたかな?今度「僕のスピーチ、かつよかった?」と聞いてみよう。成長した僕を喜んでくれたかな?本当にお願いだよ。おじいちゃんとおばあちゃん、僕は僕のことを好きなんだなあ。いつも思うんだ。遊びに行くと、すごく喜んでくれるし、僕の話を一生懸命聞いてくれるし、たくさん褒められるし。だから、僕もおじいちゃんとおばあちゃんのところに遊びに行くのが楽しみなんだ。

そして、もうすぐクリスマス。僕はケーキよりもほしきものがある。サンタクロースに忍者がもっている剣がほしいと、お願いしたよ。今年、僕はとってもいい子だったで、サンタクロースは僕のお願いをちゃんと聞いてくれるかなあ?サンタさん!!忍者がもっている剣がほしい!!(R)

美の回廊 Vol.35

水野 伊津子 「コルシカ島スケッチ旅行 後半」

北コルシカのノンザで1週間過ごした私たちの次の目的地は、南コルシカのサルテーヌという中世の街並みが残るところです。

まずコルシカ島の交通網は、もちろん新幹線も高速道路もありません。

あるのは山岳鉄道2路線。すべて単線非電化。

主要都市間(158km 3時間半)で一日5往復、支線に至っては一日2往復となっている。険しい山脈が通っているので山越えの山岳路線です。勾配とカーブとトンネルの連続で、コルシカ鉄道最高地点にある駅、ヴィッツァヴォーナ(Vizzavona)は、標高906メートル。次回また行く機会があればぜひ乗車したいものです。

そして唯一の幹線道路が、T20と呼ばれる道路。片側1車線、時々2車線になる島の東海岸を南北を縦断する道路です。これが1車線しかないから追い越したくても追い越せないし、街を通るたびに制限時速が30kmまで下げられるから、ちっとも速くない道路。でもこれを走らないとほかに道がない。

のんびりいこうよー

サルテーヌの街へ山越え...コルシカ島はフランス唯一自然世界遺産があるところ。2,706mチント山をはじめとするコルシカ山脈はトレッキングや登山、川下りなど豊富なアクティビティも楽しめます。が、ドライブでの山越えは困難を極めました。エギュイユ・ド・パヴェラという最高峰1,855mの7つの山脈を越えなければなりません。平坦な道30分、山道3時間といったところでしょうか。

サルテーヌの街が見えたところには夜7時になっていました。オーナーはほとんど英語も話せなかったのですが、偶然にも姪御さんの彼氏が坂本君という日本人が遊びに来ていて、通訳してくれました。

サルテーヌはノンザとは違い、観光バスも訪れる大きな街です。花崗岩でできた中世からの佇まいをそのまま残し、イタリアの村によく似たオレンジ色の屋根が青い空に映えます。人気の観光地らしくにぎやかで車も人もいっぱい。静かな過疎の村から一転、渦の中に放り込まれたような騒ぎです。

この日、街を案内してくれたオーナーはやさしくて、遠く日本から来てくれたことを大変喜んでくれました。そしてこの町でコンサートをするポレッタ氏を紹介してくれて彼は私たちをコンサートに招待してくれました。さらに地元の豚の丸焼きを出すレストランを予約してくれて、困ったことがあったら電話してと帰って行きました。

今まで15年以上ヨーロッパやアメリカを民泊してきましたが、たいいどのオーナーも日本人には親切ですがコルシカ人は本当にいい人が多くてびっくりしました。そして街の中で会う人も、スーパーマーケットで野菜を売っている青年でさえ、「よく来たね。コルシカの印象はどうだい?コルシカで感動したところはどこだった?」と聞いてきます。義理人情に厚くて、親切でなんだか日本人に似ています。

追伸 テレビ取材を受けたことで、プチ有名人になってびっくり!街角で絵を描いていると、フランス語で「ジャポネ〇▽*~ **#〇ジャポネ!」やたら聞こえてきます。そしたら、カポネ風の紳士が握手を求めてきました。どうやらわが町へようこそ!歓迎すると言っているようです。また、ご婦人が師匠の描いている絵を買いたいと言ってきまして。師匠の描いている絵の中に自分の家が入っていたようです。プライベートだからとお断りするとテレビ見ましたよと、メールアドレスを渡されて写真を送ってほしいと約束させられました。

テレビの力ってすごいなあ。



中日新聞社主催 郷土の美術家100人展
出品作 F6 油彩 「コントラスト」
真っ赤な薔薇と真っ白な薔薇の対比をドラマチックに仕上げました。

若竹俳壇

作品募集
毎月十日までに葉書で
発行所へ

枯尾花風に吹かれて揺れている
瓦礫まだ片づかぬまま師走入り
売出しの文字が溢れる十二月
枯尾花校歌に残る窯煙り
バス旅の陽炎に追いつけ秋速し
石路の花大木の下輝かせ
冬夕焼飛行機雲を朱に染めて
走り書きらしの裏の年用意
パトカーにたびたび出会う師走かな
開戦戦闘した少年心とは
遊ぶ子のいつか静まる雁渡し
佐助の一輪活けて日暮かな
ボニーテール揺れて小春ののど自慢
山門が額縁となる紅葉山
紅葉狩古都は外人ばかりなり
返り花忘るることも生ける術
朝の道交わす挨拶息白し
初咲きの山茶花一輪佛前に
青空を透かし紅葉葉耀けり
立冬に蟬の鳴き声これいかに
福袋平成最後争奪戦
荒畑を這って草刈る老夫婦
敦賀路に千畝を想う秋の風
外来種根こそぎ抜かれ浜寒し
天むすの届く勤勞感謝の日
山茶花が笑みもこぼれて咲き続く
迎りきて冬の天主の吹きさらし
次々と水面に着地冬紅葉
山茶花の散りを促す鳥の声
秋晴れや森の鼓動に深呼吸
黄落や天守の窓に伊勢ノ海
新品の靴のにおいよお正月

吉田ひろし 斉藤 浩美
関 里美 谷川と志江
塚本 民子 杉江 かね子
細井 永了 蟹江 節也
中尾 節也 古川 三恵子
久田 三子 山下みどり
竹内三千彦 杉山 和美
磯村美耶子 村井みさを
江端 久恵 清水ドラ吉
杉江 タエ 中村 照代
中山 洋子 林 京子
浦崎ひとみ 服部 薫平
村井 範子 竹内 艶子
竹内 佳香 田上 義則
日比 博生 山中 洋子

- の二人展!・十一日(金)〜
二十一日(日) 午前九時〜
午後五時半 午前九時〜
午後五時半
- 佐藤融陶展・二十五日
(金)〜二十四日(日) 午前九
時〜午後五時半
- ◎ギャラリーとこなめ
(常滑市陶磁器会館内)
笑福猫舎展・二十九日
(火) 午前九時〜午後四時
小ギャラリーとこなめ
(常滑市陶磁器会館内)
新春陶芸展・柴山庄山
展・三日(木)〜十五日(火)
午前九時〜午後五時
▼青天窯グループ展・
十七日(木)〜二十二日(火)
三十一日(木)〜二月十二日
(火) 午前九時〜午後五時
▼干支コンペ発表会・
二十四日(木)〜二十九日(火)
午前九時〜午後五時
- ◎方円館
▼アルバート・サスラ Enjoying
the Moment 東の間の幸
せ・十六日(火)
▼片岡秀美陶展・十八日
(金)〜三十日(日)
◎武豊町立図書館
▼武豊町小中学校書写作
品展・九日(火)〜十七日(木)
▼漢字で覚える韓国語・
十九日(出) 午後二時半〜
同日 講師 劉静煥
定員 三十名(中学生以上)
- ◎武豊町歴史民俗資料館
▼むかしものくらし展・
二月十日(日)
- ◎武豊町中央公民館
▼バスコン広場・十
七、二十四、三十一日各(各)
午後一時半〜同四時半
▼消防出初め式・十三日(日)
午前九時半〜同一時半
▼薬膳茶の教室・①十九
日(出)②二十六日(出) 各午
後一時半〜同三時 講師
西山杏実さん 定員
十二名(申込順) 参加費
千八百円(二回分の材
料費込)
- ▼手作り麦味噌教室(八
kg・二十日(日) 午前十時
〜正午 講師 中川安則
さん 定員 二十四名(申
込順) 参加費 桶付き
五千二百五十円/桶なし
四千五百円(材料費込)
▼陽大事講座(三回・三十
日(火)・二月十二日(金)・三
月十二日(日) 各午前十時
〜同一時半 定員 十二名
参加費 千円(三回分材料
費含む)
- ◎武豊町民会館
ゆめたろうプラザ
▼ゆめプラモニングコ
ンサート 金管五重奏で
奏でる日本の名曲・十六
日(火) 午前十二時 料金
五百円(一ドリンク付
き) 出演 Brass Plaisir
- 演奏曲 ジブリメド
レー、昔話三太郎メド
レー、日本の愛唱歌集(童
謡メドレー)、愛燦燦ほか
▼平成三十年国防災講演
会地震の怖さをよく知る
立場から!災害伝承十年
プロジェクト・十九日
(出) 午後二時〜同三時半
講師 山田修生さん
宮城県防災リーダー!・仙
台市地域防災リーダー!
総合防災アドバイザー!
防災士 無料
▼四人で奏でる小さなオ
ケストラ・ファミリーコン
サート編・二十七日(日)
サート後一時開演・②午後三
時半開演 出演 フライン
グドクター 入場無料(要
申込み)
◎武豊町総合体育館
▼武豊ニューイヤール 駅伝
大会・六日(日)
▼第二十回ゆめたろうスマ
イルマラソン・二十七日(日)
◎長尾児童館
▼干支のうり坊を飾ろ
う・五日(火)・六日(日) 各午
前十時半〜午後四時
◎くすのき児童館
▼ニューイヤールコンサー
ト・二十七日(日) 午後一
時半〜同二時半
◎おおし児童館
▼お正月遊びをしよう・
十二日(出) 午後一時半〜
同三時
- ◎富貴児童館
▼お正月遊び・十二日(出)
午後二時〜同三時半
▼豆まき・二十七日(日)
午後二時〜同三時
- ◎半田空の科学館
▼星の星見会特別編・部
分日食をみよう・(午前
中に見ることのできる部
分)日食をみながら観察し
ます・十六日(日) 午前八
時半〜同十六時 四十五分
対象 一般 定員 なし
参加費 無料 ※数量
限定で当館オリジナル日
食グラス販売あります!
食タラス観察会・月や
惑星などその日に見るこ
とが出来ると天体を観察し
ます・十二日(出) 午後七
時半〜同八時半 定員
六十名(一般) 要予
約 参加費 高校生以上約
三百円 三歳〜中学生
二百円 持ち物 防寒具
▼冬の大観望会(駐車場
にすくすく望遠鏡を
並べ、天体を観察しま
す!・二十六日(出)
午後七時〜同八時半 対
象 一般 定員 なし
(予約不要) 参加費
無料 持ち物 防寒具

わが家のニューフェイス



平野帆乃佳(10ヶ月) 名古屋市名東区

写真・文

平野里実

け足で分婉室へ。すぐに産声があがり、は病院に到着すると、看護師に連れられ、平成30年2月誕生。最近、はつた、い歩きに夢中です。一ブルでも、寝転がって、いる。でも、何でも掴んでは立ち上がり嬉し、そう、に笑います。成長の早さに驚かされつつも、子供中心の日々を楽しんでいます。



愛とMy Family



澤田直昌(9才) 航(3才) 卓樹(7才) 常滑市

写真・文

澤田陽子

理論派の長男、直昌、勝負は運まかせの次男、卓樹、そして、合いは十分の三男、航の勝負。試合に熱中し、ご飯の時間を忘れることも、上、取りまわして、激しくも楽し、たまにケンカになるけど、長男の合、熱中し、ご飯の時間を忘れる。こと、もしは、勝敗の結果で、た、まにケンカになるけど、長男の上手い取りまわして、激しくも楽し、いバトルを繰り上げていきます。

我が家の三人兄弟は、ベイベーレイド、というこまの遊び。には、まっ、て、います。



人と人をつなぐ
『かけ橋』になりたい



タオル・繊維商品及び輸入雑貨等総合卸

名城商事株式会社

愛知県名古屋市中川区乗越町1丁目37-3
TEL <052>362-1531(代)

ヨーロッパ
アンティーク展

■ 2019年1月23日(水) → 2月5日(火)
■ 名鉄百貨店本店〔本館〕10階美術サロンⅡⅡ
■ 営業時間 10時～19時 ※最終日は17時閉場
お問合わせ＝052-585-2841

アール・ヌーヴォー、アール・デコを代表するエミール・ガレ、ドーム兄弟、ルネ・ラリックなどのガラス工芸品や、マイセン、ロイヤルウースター、K.P.M.、ウィーンなど、王立窯を中心にしたヨーロッパ名窯の陶芸作品、気品溢れるアンティーク・アクセサリーなど、19世紀から20世紀にわたる西洋骨董の逸品を一堂に集めて展覧即売いたします。ぜひ、ご高覧賜りますようご案内申し上げます。

①ウィーン窯「音楽を奏でる美女絵飾皿」オーストリア 19C 径24.5 cm
②ドーム「金彩彫文リキュールセット」仏 20C 初デカンタ H18 cm
トレイ径20.5 cm



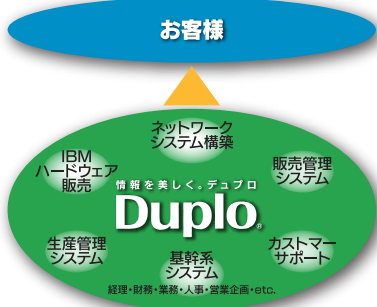
meitetsu 名鉄百貨店
〒450-8505 名古屋市中村区名駅1-2-1
Tel.052-585-1111
www.e-meitetsu.com

デュプロ販売株式会社 (名古屋)
東海・北陸地区発売元

デュプロは
コンピュータネットワークを活用した、
お客様の新しいビジネススタイル
“e-BUSINESS”を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ

Duplo
from print to documents



デュプロ販売株式会社
〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020